

感染経路は？

ウイルスの感染経路はほとんどが経口感染で、以下のような感染経路が考えられます。

- 患者のウイルスが含まれるふん便やおう吐物から人の手などを介しての二次感染
- 家庭や共同生活施設などヒト同士の接触する機会が多いところでヒトからヒトへ飛沫感染等直接感染する場合
- 食品取扱者（食品の製造等に従事する者、飲食店における調理従事者、家庭で調理を行う者などが含まれます。）が感染しており、その者を介して汚染した食品を食べた場合
- 汚染されていた二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合
- ウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取した場合

どんな症状？

- ウイルスや細菌に、感染又は汚染されていた食品を喫食して1~2日後に、吐き気、おう吐、下痢、腹痛、発熱などの症状が見られます。
- 主な症状は3日間程度で回復しますが、高齢者や乳幼児では脱水症状などから症状が重くなる場合がありますので、注意が必要です。
- ウイルスの排泄は、数週間続く場合があります。

予防方法は？

- 手洗いは予防の基本です。（調理前、トイレの後など十分な手洗いをしましょう。）
- 食品を加熱する際は、食品の中心部まで十分に加熱調理しましょう。
- 下痢症状のある方のお風呂は最後に、また下着の洗濯は別にしてください。
- 下痢・おう吐のある患者に接する時は下記のことにご注意しましょう。
 - ・ こまめに手を洗いましょう。（特に用便後）
 - ・ 感染力が強く、環境（ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品）からもウイルスが検出されます。ウイルスを死滅させるためには、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤等）によるふき取りや熱湯・熱風消毒（85℃以上で1分以上高温乾燥機やスチームアイロン等で）が有効です。

◎おう吐・下痢の症状のある人は、速やかに医療機関を受診してください。